学校番号	3006

令和５年度　工業科（電気系）

教科	工業科	科目	電気技術演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	学校作成教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

電気技術演習では、２年生で学んだ電気技術知識の復習を行います。具体的にはオームの法則やキルヒホッフに関する電気回路の計算問題をはじめ、電気技術者として必要な知識のまとめをおこないます。

2　学習の到達目標

電気技術に関する基礎・基本的な学習の上に立った様々な電気回路に関する計算問題をはじめ、１年間で学習した内容の復習を行いながら、計算問題を忍耐強く取り組む姿勢、問題を解決しようとする努力を身につけ、将来社会生活をうえでの「生きる力」を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	与えられた課題について、解決手法のプロセスを整理し、解決に意欲的に取り組む作業を行う。	問題解決に必要な公式をどう用いればよいかを考えながら、問題解決へ導いていく。	問題解決のため、各種公式等を状況に応じて活用する技能。 積極的に問題に取り組む中で、技術を身につける。	定期的に検証をすることで知識の深化につなげる。 多くの問題を解決することで、その理解を深める。
評価方法	学習状況の観察 出席状況 課題への取り組み 発表・発言	学習状況の観察 課題への取り組み 成果物 報告書の作成 発表・発言 相互評価・自己評価	学習状況の観察 課題への取り組み 成果物 報告書の作成 発表・発言	学習状況の観察 課題への取り組み

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	電気の基礎に関する復習	学習内容の確認 直流回路 磁気回路	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:課題に対して意欲的に取り組む態度 b:課題に対してさまざまな検証を行い解決へ導くための思考 c:苦手分野の解決のため資料などを状況に応じて調べる技能 d:小テストなどでの理解度確認	学習状況 出席状況 小テスト 定期考査
2学期		交流回路 電気機器						
3学期	本年度の学習内容の復習	電力技術 電子技術	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:課題に対して意欲的に取り組む態度 b:課題に対してさまざまな検証を行い解決へ導くための思考 c:苦手分野の解決のため資料などを状況に応じて調べる技能 d:小テストなどでの理解度確認	学習状況 出席状況 小テスト 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解